

飲料業界『社会課題対応研究会』活動報告

物流2024年問題の改善に向け、待機時間・荷役作業を削減

— GHG 排出量削減・食品ロス問題などについても幅広く協議を継続 —

アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長：米女太一）、株式会社伊藤園（代表取締役社長：本庄大介）、キリンビバレッジ株式会社（代表取締役社長：井上一弘）、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（代表取締役社長 最高経営責任者：カリン・ドラガン）、サントリー食品インターナショナル株式会社（代表取締役社長：小野真紀子）の清涼飲料5社は、昨年11月に『社会課題対応研究会』を正式に発足させ、物流2024年問題、温室効果ガス（以下、GHG）排出量削減や食品ロス問題などの社会課題について幅広く議論を重ねています。

特に、物流2024年問題を背景とした厳しい物流環境の中、お客さまに私たちの商品をお届けする状態を維持していくため、喫緊の各社共通課題として研究会発足発表以前から議論を重ね、先行して取り組みを開始してきました。トラックドライバーの待機時間、荷役作業発生件数の削減において、物流パートナー企業様やお取引先様のご理解・ご協力をいただきながら改善を進めています。

【待機時間削減件数（主に待機時間1時間以上の件数）】

5社計で平均約40%削減

【荷役作業発生件数 ※】

5社計で平均約30%削減

（期間：2024年3月～2025年2月の1年間での実績）

※ドライバーが本来の運転業務以外に行っている、積み下ろし、検品、ピッキングなどの作業の発生件数

また、本研究会に参画する清涼飲料5社は、物流の効率化およびGHG排出量削減に向けて、同業他社や異業種企業との共同配送や往復輸送などの取り組みを強化しています。

- ・2024年7月～伊藤園×日清食品：往復輸送
- ・2024年7月～サントリーグループ×ダイキン工業：往復輸送
- ・2024年8月～コカ・コーラ ボトラーズジャパン×伊藤園：共同配送
- ・2024年10月～コカ・コーラ ボトラーズジャパン×湖池屋：共同輸送
- ・2024年11月～アサヒ飲料×伊藤園：往復輸送
- ・2024年11月～サントリーグループ×サッポログループ：往復輸送
- ・2024年11月～伊藤園×全農グループ：往復輸送
- ・2025年2月～キリンビバレッジ×花王：共同配送

さらに、本研究会として省庁や異業種の物流研究会との情報交換や協議の場を持つなど、個社単位では解決が難しい社会課題を各方面と協働することで改善に繋げるべく活動を続けています。本研究会内においても引き続き、待機時間や荷役作業時間以外の物流課題の共通認識や対応の検討を行うほか、飲料容器を中心とした資材観点で社会課題の改善に繋げられる領域の探索など、広く社会課題に対応していくための議論・研究を行っていきます。

今後も我々5社は、消費者のニーズに応え、環境への配慮を怠らず社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けた事業活動をして参ります。